

ギリシャ概況(2019年2月号)

1. 内政

- ・8日 ギリシャ国会が北マケドニア共和国の NATO 加盟議定書を賛成153票、反対140票、棄権1票で批准した。
- ・同日 プレスペス合意を支持したパパプリストプロス議員が ANEL から除名された後、辞任した。これにより、ANEL は国会で政党として認められる5議席を満たなくなり、同党議員は全員無所属となった。
- ・11日 テレンス・クイック外務省政務官(注:前回選挙では ANEL から立候補)が繰り上げ当選し、無所属議員となった。
- ・15日 政府が小規模な内閣改造を実施。外務大臣にヨルゴス・カトゥルガロス副外務大臣、副外務大臣にシア・アナグノストプル議員、内務省政務官(マケドニア・トラキア担当大臣)にエレフセリア・ハジヨルギウ氏、労働・社会保障・社会連帯省政務官にコンスタンディノス・バルカス議員、インフラ・運輸省政務官(運輸担当大臣)にサノス・モライティス氏、移民政策省政務官にアングロス・トルカス氏が就任した。

2. 外政

- ・4日 カトゥルガロス副外相(当時)がEU・アラブ連盟閣僚会議(於:ブリュッセル)に出席した。
- ・同日 アンドリュカイティス欧州委員(保健・食品安全担当)がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領と会談した。
- ・5~6日 チプラス首相がトルコを訪問し、エルドアン・トルコ大統領と会談した他、ヴァルソメオス総主教とともにハルキの神学校及びアギア・ソフィア博物館を視察した。
- ・7日 ロート独欧州担当国務大臣がギリシャを訪問し、カトゥルガロス副外相(当時)と会談した。
- ・13日 アポストラキス国防相がNATO国防相会合(於:ブリュッセル)に出席した。更に本会合の margins にて、アカル・トルコ国防相及びサケリンスカ北マケドニア共和国国防相と会談した。
- ・16日 チプラス首相がミュンヘン安全保障会議に出席し、北マケドニアの国名問題解決の功績を称えられ、エヴァルト・フォン・クライスト章を受賞した。更に本会議の margins にて、ザエフ北マケドニア共和国首相と会談した。
- ・18日 カトゥルガロス副外相がEU外相会合(於:ブリュッセル)に出席した。
- ・19日 パパス・デジタル政策・通信・情報大臣が北マケドニア共和国を訪問し、ザエフ首相及びマンチェフスキ情報化社会大臣と会談した。
- ・26日 ルート国連コンサルタントがギリシャを訪問し、カトゥルガロス外相と会談し

た。

・27～28 日 ミツォタキスND(野党第一党)党首がクムツァコス同党外交担当他とともに露を訪問し、メドヴェージェフ首相、ラヴロフ外相及びヴォロディン国会議長と会談した。

・28 日 モスコヴィシ欧州委員(経済財政問題担当)がギリシャを訪問し、チプラス首相及びヴチス国会議長と会談した。

3. 移民・難民問題

1 月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が 800 名、島嶼部に到着する者の数が 1,870 名となり、移民・難民の流入数が前月(2018 年 12 月)の 3,950 名より減少した。

1 月 31 日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は 72,300 名(UNHCR 発表)。

4. 経済

(1) 経済動向

・8 日 格付け会社フィッチ社がギリシャの国債格付け評価を BB- で据え置きし、見通しも変わらず「安定的」とした。

・11 日 ユーログループ会合(於:ブリュッセル)が開催された。

・20 日 欧州委員会がギリシャ支援プログラム終了後の監督体制を6ヶ月間延長することを発表した。これにより監督体制は2022年まで続くことになる。

・27 日 欧州委員会がポスト支援プログラム第2次審査の結果(コンプライアンス・レポート)を発表した。

(2) 財政

ギリシャ財務省が2月26日付で公表した2019年1月の財政統計によると、1月の財政収支は4億4,200万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは7億2,900万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は41億700万ユーロで政府目標を2,600万ユーロ(0.6%減)下回ったが、歳出は45億4,800万ユーロと政府目標より7億6,700万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の2月7日付の発表によると、12月の輸入総額は42億6,730万ユーロ(前年同月比0.2%増)、輸出総額は25億7,030万ユーロ(前年同月比2.8%増)となった。

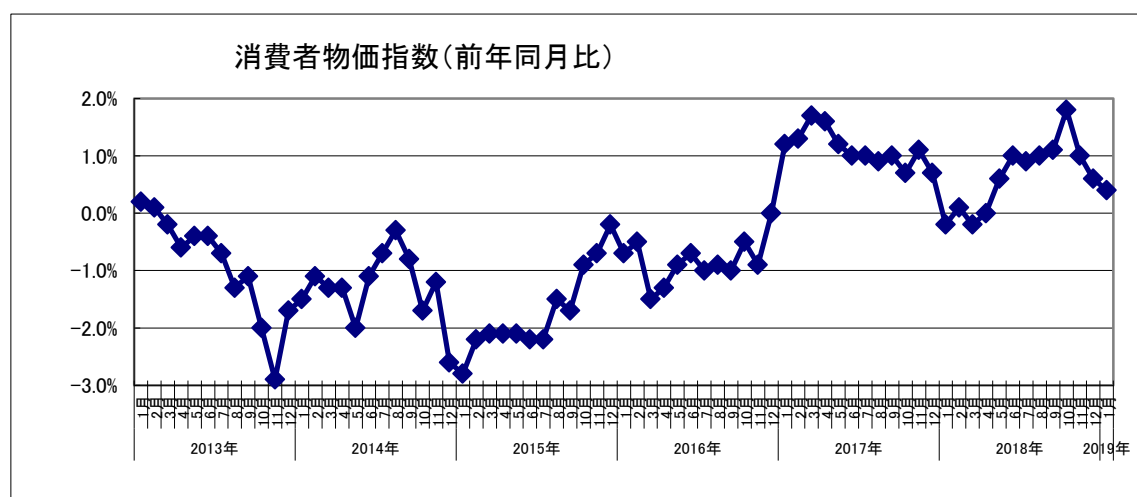
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、12月の観光客は41万9,202人で、前年同月比23.9%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が27万9,787人(同20.6%増)で、テサロニキ空港が13万219人(同46.7%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

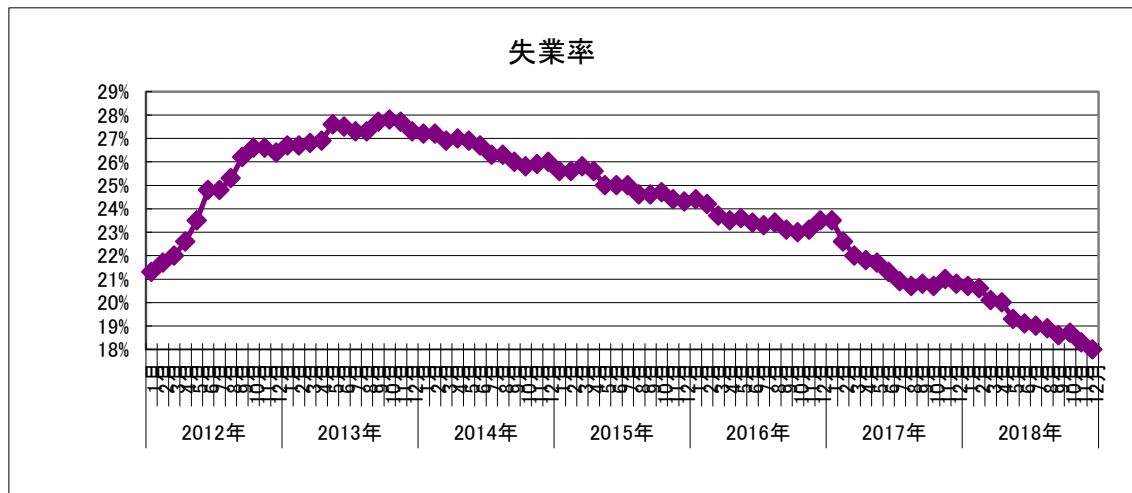
ギリシャ統計局の2月14日付の発表によると、1月の消費者物価指数は前年同月比0.4%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の3月7日付の発表によると、12月の失業率は18.0%となり、前月から0.3%減少した。



※2018年11月の失業率は、ギリシャ概況(2019年1月)公表後、ギリシャ統計局により18.5%から18.3%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した

(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECDのデータによると、2018年第3四半期(7月～9月)の実質GDP成長率は前年同期比プラス2.2%となった。



(出典:OECD)

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。